



奈川の人口

令和8年7月1日現在

総世帯数	290世帯
総人口	541人
男	264人
女	277人

発行 奈川公民館
 発行者 奥原広幸
 編集者 公民館報編集委員会
 印刷 (株)プラルト

第44回野麦峠まつり 労働遺産認定後 初!



5月24日、野麦峠まつりが開催され、記念山行や山頂広場でのイベントに多くの参加者が訪れました。

記念山行では、鮮やかな新緑に包まれた峠道を、工女衣装などを着た地元の子どもたちが先頭に立って歩き、その後を参加者の列が続きました。山頂では高山市から参加した子どもたちと合流し、記念撮影が行われました。参加者からは「曇り空だったが歩きやすかった」。

今回は、野麦峠まつりを労働遺産に認定した日本労働ペンクラブの皆さんも参加され、工女たちの故郷飛騨への道を踏みしめていました。

6/16 刃物研ぎ講座「鎌研ぎ編」

奈川公民館では、山あいの暮らしに役立つ講座として、草刈鎌の研ぎ方講習会を初めて開催しました。

この時期は草刈鎌の出番が増えますが、鎌の刃を研ぐのはなかなか難しいものです。

講師の奥原勝由さん(神谷町会)から作業手順、砥石の角度や動かし方などを教わった参加者たちは、荒砥ぎから仕上げまでの工程を体験しました。

使い込んだ鎌を持参した女性参加者は、仕上げた鎌の切れ味に感動し、

納得した表情を見せていました。



おうちの社会見学「北信濃」

5月19日、福祉ひろば・公民館の共催で飯山市を訪ねました。

飯山市は、人口約一万八千人。長野県最北にある市で、島崎藤村が「雪国の小京都」とよんだほど寺の多いことで有名です。

最初に訪れた高橋まゆみ人形館は、飯山市在住の創作人形作家高橋まゆみさんの作品が展示されています。どの作品もとても親しみやすい表情をしていて、参加された人にもこやかな表情で見学していたのが印象的でした。

次に訪れた忠恩寺は歴代飯山藩主の菩提寺であったお寺で、本尊

飯山市を訪ねる

は徳川家康公から拝領したものとされ、毎年8月15日のみ公開されています。また本堂外陣の天井にはどの位置から眺めても人と目が合うように見える

八方睨みの龍の絵が描かれていて、見る人を圧倒する迫力がありました。



▲高橋まゆみ人形館

6月30日、文化センター夢の森1階で「夢の森カフェ」がオープンしました。

カフェコーナーの「うす焼きカフェ豆まめ」では、この時期ならではのフレッシュな梅ドリンクのソーダやコーヒー、そしてうす焼きを頂き美味しいひとときを過ごしました。

衣料品コーナーの「コタケ」では、お洒落な洋服などを皆さん嬉しそうに選んでいました。

「JAあづみ・あんしん号」の移動販売車では日常品がならび、思い思いのお買い物をされ、笑顔いっぱい「夢の森カフェ」でした。

夢の森カフェ



6/6「鎌倉街道」古道整備



野麦街道よりもさらに古い時代に、安房峠・祠峠越えの交通路であった「鎌倉街道」を生かそうと、地域の皆さんの協力を得て奈川側の古道整備を行いました。

当日は12名の皆さんに参加いただき、現地に詳しい方の先導で目印テープ付け、刈払い、倒木処理などの作業をしながら祠峠まで登りました。

古道整備は継続性が求められますが、初めての試みとして、まずは迷わず歩ける道筋をつけ、今後の活動につなげていくこととしました。



カフェコーナー
「うす焼きカフェ豆まめ」

奈川小中学校 わらび採り

5月27日、学校のわらび採りがありました。野外活動にはちょうどいい感じの曇り空。小学校と中学校に分かれて、地域の方々と出発！

この頃の暖かさで雨で長く太く育ったわらびがたくさん採れました。

総重量280キロ。収益は、児童・生徒会の活動に使われます。



八幡屋礒五郎による七味作り



6月12日、福祉ひろばのふれあい健康教室で、八幡屋礒五郎の七味作りが行われました。

会社の歴史や成り立ち、7種類の薬味の説明を受けた後、参加者の皆さんが順番に薬味の調合を自分好みに変えながら、七味を作りました。教室の中いっぱいに薬味のいい香りが広がりました。

貴重な体験ができ、参加者の皆さんはとも満足していました。

野麦路



6月も半ばになってもまだ朝方ひんやりする日はたまに暖房をつけます。

晴れた日の日中は半袖じゃないと暑いくらいですが、梅雨寒という言葉のとおり雨の日は日中でも気温が低く上着が必要なくらいです。

この館報が発行されるときは梅雨が明けているかもしれませんが、梅雨の時期は気圧が低くなるため自律神経が乱れ頭痛やめまいなど体に不調が起こりやすくなるそうです。

梅雨が明けたらいいよ夏本番です。今年の夏も暑いのでしょいか？奈川も年々暑さが増してきているので、生活のリズムを整えて夏の暑さを乗り切りたいです。

(編集委員)

